

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第78号 令和4(2022)年4月8日発行



令和4(2022)年度の開始に当たって

栃木県総合教育センター所長 大高 栄男

この度の定期異動で所長を拝命いたしました大高 栄男です。関係者の皆様には、日頃から当センターの事業に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターは、教職員研修、教育に関する調査研究、教育相談及び幼児教育の充実並びに県民の生涯学習活動への支援を推進し、学校教育及び生涯学習の振興に資する役割を担っており、今年度設立30周年を迎えます。

令和4(2022)年度は、以下に示した事業に取り組んでまいります。



令和4(2022)年度 栃木県総合教育センターの主な事業

子どもから大人までの幅広い学びを支援し、皆様に「安心」をお届けします。

教職員研修 若手 ・教員：初任、2年目、3年目、5年目 (とちぎの若手教員15(いちご)研修) ・養護教諭、学校栄養職員、実習助手 :新採、2年目、5年目 ・寄宿舎指導員、事務職員：新採、5年目 ・とちぎの教育未来塾 ミドル ・中堅教諭等資質向上研修 ・中堅養護教諭資質向上研修 ・中堅栄養教諭職員資質向上研修 ・中堅実習助手資質向上研修 ・中堅寄宿舎指導員資質向上研修 ・中堅事務職員資質向上研修 トップ ・管理職研修 専門性 ・職位に応じた研修 ・教科に関する研修 ・教育相談に関する研修 ・特別支援教育に関する研修 ・教育相談特別講座	☆小・中学校における教科指導充実に関する調査研究 ~資質・能力の育成を図る授業改善-ICTの活用を通して~ ・高等学校における教科指導充実に関する調査研究 ・教育に関する各種統計調査 ・栃木県教育研究発表大会	☆新規事業 ☆教育の情報化に配慮した学校の在り方に関する調査研究 ・児童生徒支援に関する指導資料作成 ☆特別支援学校におけるICTを活用した指導・支援の充実
	調査研究 講師派遣 ・校内研修の支援 (問合せ先:研究調査部) 情報収集・発信 ・「教材研究のひろば」	学校支援 教育相談 ・子どもと保護者の教育相談
生涯学習 研修 ・家庭教育支援者養成研修 ・地域学校協働活動推進員養成研修 ☆生涯学習・社会教育関係職員研修 ・人権教育指導者専門研修 ・地域連携教員研修 学習機会提供 ・とちぎ県民カレッジ ・学びの杜の冬休み ~ふれる・つくる・考える~ 情報提供 ・図書資料室 ・とちぎレインボーネット ・生涯学習ボランティアセンター 調査研究 ☆共生社会の実現に向けた県民の学びの実態に関する調査研究 ☆生涯学習指導者研修修了者の地域での活動状況調査 (家庭支援者の養成研修について)	講師派遣 ・PTA・各種団体・市町等への活動支援(出前講座)(問合せ先:生涯学習部)	調査研究 ☆「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価
幼児教育 研修 ・基本研修[新採、5年目、中堅] ・トップセミナー ・幼児期の特別支援教育研修 ・スキルアップセミナー ・教育課程研究集会(幼児教育) 幼小連携 ・幼小連携推進会議 ・合同研修(幼小) ・幼小接続推進者研修 ・とちぎの幼小カリキュラム 接続プロジェクト 情報提供 ・幼児教育情報誌「おうち」 調査研究 ☆「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価 講師派遣 (問合せ先:幼児教育部)		

また、来所された皆様が安心、安全に研修等を受講できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染対策に引き続き万全を期して取り組んでまいります。

今年度も「総合教育」の名にふさわしいシンクタンク機能を発揮し、積極的な情報発信に努め、教育振興基本計画2025の基本理念である「とちぎに愛情と誇りをもち 未来を描き ともに切り拓くことのできる 心豊かで たくましい人を育てます」に寄与してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

様々なテーマの校内研修等を支援しています

今年度も、先生方にとってよりよい校内研修等となるように、センターの社会教育主事や指導主事が学校に伺い、講師としてお手伝いをさせていただきます。日時、内容など各学校の御要望に応じることができま
す。以下の表を御確認の上、担当部へ電話でお申込みください。受付は随時行っています。

なお、テーマに無い研修に関しても承れることもありますので、御相談ください。

社会教育に関する研修支援			生涯学習部 TEL 028-665-7206
No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	人権学習	50～120分	参加体験型の学習をとおして、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。
2	学校・家庭・地域の連携	50～120分	学校運営会議等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験をとおして学びます。
3	保護者対象の学習会	50～120分	保護者会(学年・学級懇談会)・PTA等における保護者同士の話し合い等の学習活動を充実するため、親学習プログラムの活用などを中心に、ファシリテーター(進行役)の役割や進め方について学びます。

校内研修に関する支援			研究調査部 TEL 028-665-7204
No.	テーマ	対象	内容
* 実施目安時間は60～120分程度で、相談に応じます。 * テーマにない校内研修に関しても、お気軽に御相談ください。			
1	マネジメント	小中高	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を取り入れながら、各学校の教育目標の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。
2	危機管理	小中高	学校における具体的な危機場面を設定し、リスクの洗い出し、クロスロード、シミュレーションを通して、組織全体の危機管理意識を高めます。
3	「指導と評価の一体化」のための学習評価	小中高	新しい学習指導要領の方向性を理解し、評価規準の作成や評価の実施など、学習評価の基本的な考え方について理解を深めます。
4	各教科等の授業研究会	小中高	各学校の学校課題に合わせて授業研究会をサポートします。各教科における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善につなげます。
5	「総合的な探究の時間」の充実	高	探究活動のねらいや、「総合的な探究の時間」を充実させるための方策などについて、探究の4つのプロセスなどを体験しながら学びます。
6	主体的・対話的で深い学び～問いは意図～	高	習得・活用・探究という学びの過程の中で、「深い学び」を実現させるための様々な切り口の「問い」についての理解を深めます。
7	情報モラル教育	小中高	児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応について学びます。ワークショップを通して、更に理解を深めることができます。
8	ICTの活用 実践講座	小中高	プログラミングやタブレットの活用、各種クラウドサービスの効果的な活用の方法などについて学びます。

教育相談・特別支援教育に関する学校支援			教育相談部 TEL 028-665-7210 7211
No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	児童生徒とのかかわり	50～90分	児童生徒とのかかわりの基本(カウンセリングマインド、みる・きく・はたらきかけるなど)、児童生徒の理解、一人一人を『認める』について考えます。
2	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づきいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応について考えます。
3	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校の初期対応、不登校の未然防止、登校支援、組織的対応等について考えます。
4	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。
5	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。 ※Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。
6	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。 ※自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。
7	事例検討	60～90分	児童生徒への指導・支援の方針や具体策を各学校の先生方と一緒に考えます。

幼児教育・幼小接続に関する研修支援			幼児教育部 TEL 028-665-7215
No.	テーマ	目安時間	内容
1	幼小接続期の教育の充実	60～90分	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、接続期のカリキュラムを見直し、幼小接続期の教育の在り方について考えます。
2	子どもの育ちと学びをつなぐために	60～90分	幼児期の指導要録の意義や役割について学び、小学校において一人一人が自分らしさを発揮し、生き生きと学ぶための指導の在り方について考えます。

当センターがまとめた冊子やパンフレットを御活用いただけます

栃木県総合教育センターWeb サイト（<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/02chosa/index.htm>）には、最新の冊子やパンフレットに加え、過去に作成したものも多数掲載しております。

御自身の目的に応じたものがあると思いますので、御確認の上、ぜひ御活用ください。

〔過去の調査研究例〕

- ・高等学校における「総合的な探究の時間」に関する調査研究
- ・「見方・考え方」を意識した授業づくり～資質・能力の育成に向けた授業改善～（小学校段階）（中学校段階）
- ・「考え、議論する道徳」の授業づくり（小学校段階）（中学校段階）
- ・「学校におけるOJT」に関する調査研究
- ・幼児教育において育みたい資質・能力を育むために～幼児期にふさわしい生活を通して～（PDF）
- ・初めて通級による指導を担当する先生のためのハンドブック（冊子）
- ・保護者とのよりよい連携のためのヒント～共に子どもを育む～（冊子）
- ・高校生の地域活動に関する調査研究（令和2年度） など

最新版「令和4（2022）年3月発行」は以下の①～⑦となります。

① 社会教育行政の地域の課題解決への関わりについて

～地域の課題解決に向けた取組事例調査より～



各市町では地域の課題解決に向けた取組を行い、地域づくりに尽力しています。児童や生徒がこれらの取組を見学し内容を知ったり、取組に参加し地域の人々と一緒に活動したりすることで、地域を理解することにつながります。このたび、県内5市町の地域の課題解決に向けた取組について調査した結果を報告書にするともに、概要をパンフレット形式にまとめました。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

Web サイト「とちぎレインボーネット」にて掲載

【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）



② 先輩教師からのメッセージⅢーこれからの教育を担うみなさんへー



ミドルリーダー世代の教職員に執筆を依頼し、小冊子にまとめました。執筆者は幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で働く教職員50名です。執筆者がどのような経験を積み、どのように子どもたちと関わり、どのように成長してきたか、その実践のプロセスが省察を踏まえて書かれています。

http://www.tochigiedu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/senpai_message/menu.htm

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



③ 高等学校における教科指導充実『問いは意図～実践編～』



資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実践例を国語科、地理歴史科、数学科、理科、外国語科（英語）の5教科それぞれでリーフレットにまとめました。令和2年度の調査研究とのつながりを意識しているため、タイトルを「問いは意図～実践編～」としています。

http://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/?page_id=23

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



④ 「情報Ⅰ」におけるプログラミング指導資料

これで安心！プログラミングの授業



「情報Ⅰ」におけるプログラミング指導資料

これで安心！
プログラミングの授業
(プログラミング言語: Python)

高等学校で令和4年度からスタートする情報科「情報Ⅰ」で指導するプログラミングについて、プログラミング言語「Python」を用いた実習を行うにあたってのポイントをまとめました。単元導入における準備や、実習時のトラブルに対応できるよう、プログラムの実行時に起こりやすいエラー等も掲載しています。

http://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/?page_id=23

【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)



⑤ チームによる支援の充実を目指して

～教育相談係主任を中心として～



チームによる支援のイメージ図を示すとともに、その調整役である教育相談係主任として大切なことを「きづく」「つなぐ」「たしかめる」の3点にまとめました。SC・SSWと連携する上での留意点についても掲載しています。

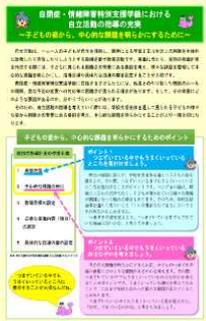
<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r03-2.htm>

【問合せ先】 教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)



⑥ 自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実

～子どもの姿から、中心的な課題を明らかにするために～



自立活動の指導に当たって、子どもの「つまづいている中でもうまくいっているところ」に着目して中心的な課題を明らかにしていく考え方をリーフレットにまとめました。小学校・中学校それぞれの事例を掲載しています。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r03.htm>

【問合せ先】 教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)



⑦ 「幼児教育・保育の質」を高める園の学校評価

～栃木県の実態を踏まえて～



県内の幼稚園・認定こども園を対象に学校評価に関する実態調査を行い、現状と課題を明らかにし、教育活動の質の向上を目指して、PDCAサイクルが機能する園における学校評価の在り方についてリーフレットにまとめました。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/cyosa/menu.htm>

【問合せ先】 幼児教育部 (TEL 028-665-7215)



教員免許状更新講習について

中堅教諭等資質向上研修、中堅養護教諭資質向上研修、中堅栄養教職員資質向上研修の受講者で、教員免許状更新講習の受講を希望される方は、4月8日付けで発出した文書を確認し御対応ください。

なお、今国会で教員免許状に係る法律が改正されますと、本講習は開催されなくなりますので御承知おきください。